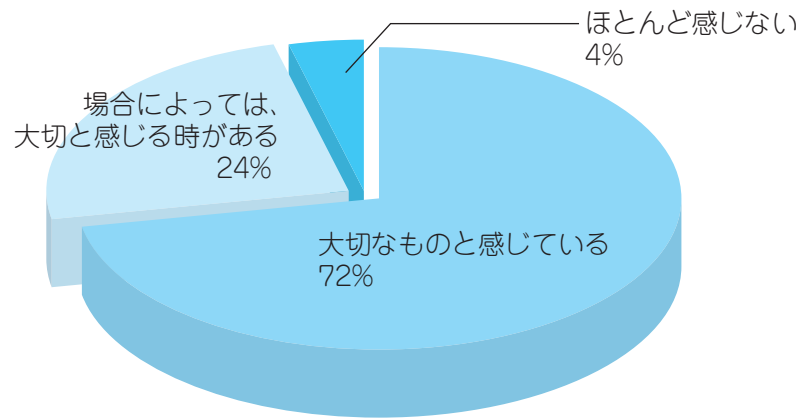


# 96%の人が、「人権」は大切と感じています。

## 《町政モニター「人権問題・人権啓発について」調査結果と考察》

今年7月に実施しました町政モニター（約200人）アンケート結果をもとに、人権教育推進懇談会で今後の人権教育・啓発の方向について検討をしてきました。今回、その一部をご紹介させていただきます。

**問1 日常生活において、「人権」は大切なものだと感じていますか**

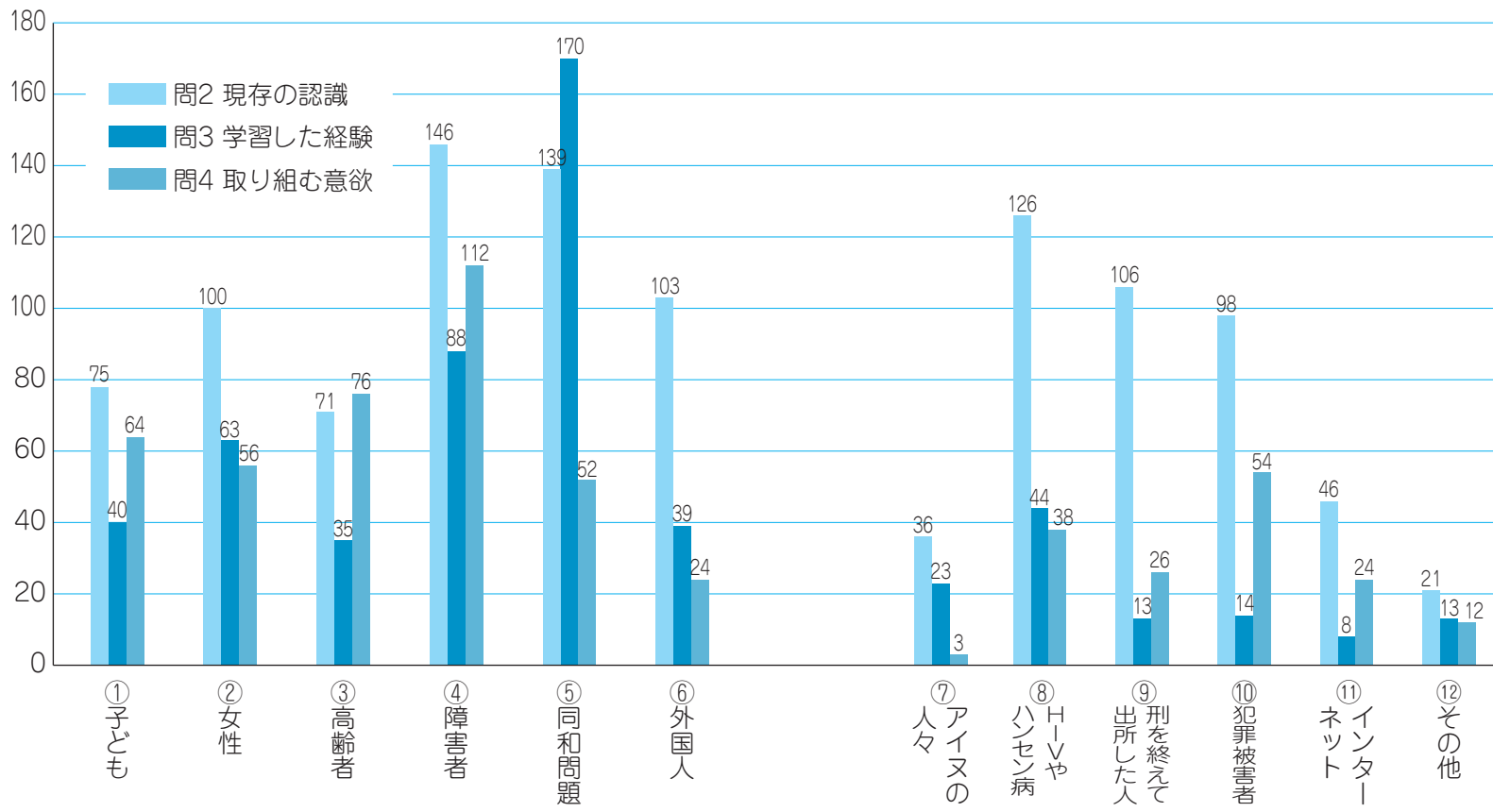


**次の①～⑫の人権問題について3つの質問をしています。**

**問2 現存していると思われる問題はどれですか**

**問3 これまで学習（学校の授業・行政や各諸団体の研修会などを含む）をしたことはありますか**

**問4 自分自身、関心を持って取り組んでいきたい問題はどれですか**



96%の方が、日常生活に「人権」は大切であると感じておられます。ただ、昨今、さまざまなことでも人権問題として「身勝手な人権」を主張したり、逆にDVや虐待など深刻な人権問題でありながら「自分が悪いからしかたがない」とあきらめてしまったりということが少なくありません。狭い人間関係の中でしか考へられないと、人権意識も偏ったものになりがちです。日ごろから身近な人たちと人権の大切さについて話し合っていくことで、すべての人たちが人として幸せに生きる権利をもっているという認識を再認識していくべきではないでしょうか。

※DV（夫・恋人など身近な人から受ける肉体的精神的暴力のこと）

### 集計結果から見えてくるもの

● **だれもが関心をもっている問題は「障害者」問題が現存しているという認識が一番高く、また取り組んでいきたい問題としても高いポイントを得ています。**この背景には、障害者だけでなく、だれもが事故や病気、また加齢によって障害を持つ可能性があり、それゆえ年齢や性別に関係なく全体的に関心が高いと言えるのではないのでしょうか。

● **性別や世代間で較差が大きい問題は「子ども」「女性」「高齢者」問題は、虐待が深刻な社会問題になっていますが、実際に虐待にかかわることがほとんどなく、むしろ男女共同参画推進など人権意識の高まりの中で偏見や差別がなくなりつつあるという実感があるせいですが、現存しているという認識はそれほど高くありません。**ただし、「子ども」「女性」問題では取り組む意欲に男女較差が大きく、「高齢者」問題では、若い世代が質問内容すべてに低いポイントになっています。やはり、女性問題は男性が、子どもの問題は大人が、高齢者の問題は若い世代が、共に考えていくことで問題解決が進んでいくのではないのでしょうか。

● **これからの「同和問題」は**これまで住民学習として同和教育が推進されてきたことよって、他の問題に比べ圧倒的に学習経験のある人が多いのですが、それにもかかわらず現存しているという認識が高いのは、根深い問題だと言えます。ただ、取り組みへの意欲が30歳代以下の世代よりも40歳以上の世代の方がポイントが高くなっています。これは、長年の住民学習の成果とも言えるでしょう。

今後は、この学習経験を生かした同和問題解決への実践が問われます。

● **関心はあるが、遠い存在になっている問題は**最近、「犯罪被害者」「刑を終えて出所した人（犯罪加害者）」とその家族の問題、そして「HIVやハンセン病」の問題など、テレビ・新聞・週刊誌などで毎日のように報道されているせいで、現存しているという認識は高いポイントになっています。しかし、日常生活でかかわることがほとんどないために、学習の機会や取り組む意欲については、極端に低くなっています。かわりがないから関心がないというのではなく、現存している人権問題について正しく理解していかなくては、将来様々な人権問題にかかわることになった時に、きちんと対応できる資質を培っていくことになるのです。

このページに関するお問い合わせは生涯学習グループまで。  
☎0794(35)0565

### 12月4日～10日は人権週間

昭和23(1948)年12月10日、第3回国連総会において、「世界人権宣言」が採択され、12月10日を「人権デー」として、加盟国に人権思想の啓発を呼び掛けています。日本では、毎年12月4日から10日までを「人権週間」と定め、全国的な啓発活動を展開しています。

播磨町では、人権週間に「こころふれあう町民のつどい」講演会を開催し、また広報12月号を特集号として人権に関するページを設け、皆さまに情報を提供しています。

### 「こころふれあう町民のつどい」講演会

- ▶ **日時** 12月4日(日) 午後1時30分～3時30分
- ▶ **場所** 中央公民館 大ホール
- ▶ **講師** 桂 文福(落語家) 一座
- ▶ **演題** 真の笑いは平等な心から
- ▶ **主催** 播磨町、播磨町教育委員会
- ▶ **共済** 播磨町人権・同和教育研究協議会
- ▶ **協力** 兵庫県聴覚障害者協会、手話サークルはりま、要約筆記ひまわり
- ▶ **申し込み** 不要。直接会場へお越しください。



### 特設人権相談を開設

- ▶ **日時** 12月6日(火) 午後1時～3時
- ▶ **場所** 播磨町福祉しあわせセンター
- ▶ **相談内容** 人権問題（名誉、信用、差別、私的制裁、いやがらせ、いじめなど）
- ▶ **連絡先** 法務局加古川支局 ☎0794(24)3555

### 今年の人権啓発カレンダー「ふれあい」の使用率は75%

今年のカレンダーは多くの方々にご利用いただいています。来年のカレンダーも同じ様式で配布しますので、ぜひご活用ください。

### 訂正とお詫び

1月の人権標語の作者名を「住谷一郎」から「住谷一朗」に訂正させていただきますとともに、お詫びいたします。

### 補足説明

南地区用カレンダーで、第3水曜日の「食用廃油」は一部の地区ですのでご了承ください。